

2025年(令和7年)4月23日(水)

## ひきこもり「違い理解必要」

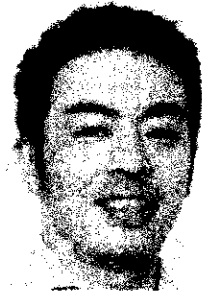
当事者家族らの団体 27日に識者講演会

ひきこもり当事者の家族や支援者でつくるNPO法人KHJとちぎベリ―会は27日、自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児科の門田<sup>もんでん</sup>行史<sup>ゆきふみ</sup>准教授を招いて、講演会「脳のところの発達を知ると見えてくる発達の特性と生きづらさの理解と向き合い方」を開く。

ひきこもる人は国内に146万人いるといわれるが、その理由はさまざま。同会の阿久津久雄副理事長は「人それぞれの違いを周囲も理解することが必要で、生きづらさを感じて人の痛みや苦勞をやわらげるヒントになれば」と話す。

講演会は宇都宮市若草1丁目のとちぎ福祉プラザで午後1時半～4時。

受講料は一般1500円で、ひきこもりの当事者は無料。定員80人(先着順)。問い合わせは阿久津さん(090・3900・5643)。申し込みはファクス(0282・86・4437)やメー



門田行史さん

ル(aku@sky.ucatv.ne.jp)、阿久津さんの携帯のショートメール(SMS)へ。(高橋淳)